



覚悟



佐賀鍋島藩に伝わる『葉隠れ』思想
 葉隠れには、行動哲学から日常の実践的な教訓。
 更に恋愛哲学まで記されている。
 『武士道といふは、死ぬことと見付けたり』は、余りにも有名な言葉である。
 しかし、「武士だから死ぬ」と言っているのではない。
 武士たるもの常に死を覚悟し、そして主君のために命がけで働く、と理解できる。
 つまり、『**覚悟**』の問題である。
 大成功を収めた偉人たちには、命の危機にさらされた経験者が多い。

病を患う、戦争に巻き込まれる、その時自分は何をするべきかを知る。

その時『**覚悟**』が生まれる。

残された時間を全力で生きる、迷ったり悩んだりしている暇はない。

死を覚悟したことで、人間はとんでもないエネルギーを生み出す。

『**火事場の馬鹿力**』という言葉がある。

腰の曲がった老婆が、焼け落ちそうな家の中から仏壇を担ぎ出していた。

こんな話も残っている。

社長！ **創業の理念を忘れていないか。**

事業を興すということは、人生をかけた大勝負だ。 その時の『覚悟』を思い出せ。

今、死ぬ気で仕事をしているか？

情報提供: 特別情報紙

住宅ローン審査に落ちた理由、1位は「年収」HOME'S調べ



不動産・住宅情報サイト『HOME'S』を運営するネクストは「住宅ローンの審査に通らなかったことがあるが、住宅ローンを借りられた」という人300名を対象に実施した「住宅ローン調査」の結果を発表した。

「住宅ローンの審査に落ちた理由」に思い当たることを聞いた質問では、「年収が少なかったから」(30.0%)、「勤続年数が短かったから」(22.0%)、「自営業だったから」(10.0%)が上位だった。

「思い当たることはまったくない」という回答も23.0%と多かった。

審査に通るための対策として、その後に見直したことを聞いた質問では、「購入する物件を見直した」(19.0%)、「依頼する施工会社を見直した」(13.0%)、「購入する土地を見直した」(12.3%)が上位となり、無理なく融資を受けられるように物件条件や取引会社を変更する人が多いことが分かった。

その他、未払いの税金を支払ったことや、借金を完済したなど、身辺整理を挙げる人も多く見られた。

実際に借りた金利タイプを聞いた質問では、「変動型」(43.3%)、「全期間固定型」(34.3%)の上位2つで8割近くを占める結果となった。

情報提供: 新建ハウジング

国土交通省、建て替え最大50万円補助など概要を公表



国土交通省

国土交通省は、今年度の2次補正予算で措置予定の「**住宅ストック循環支援事業**」の概要を公表した。

同事業は、インスペクションを実施し、既存住宅売買瑕疵保険に加入する既存住宅の取得や、耐震性が確保された省エネ改修、一定の省エネ性能を有する住宅への建て替えに対して、国が補助を行うもの。

具体的には、(1) **住宅の省エネリフォーム**などを実施した場合に、リフォーム費用に対し1戸あたり最大30万円を補助(耐震改修を行う場合は45万円)のほか、(2) **40歳未満の若年層が既存住宅を購入した場合**に、インスペクションを行う場合、1戸あたり5万円を補助、(3) **耐震性のない住宅などを除却し、エコ住宅を建て替えた場合**に、1戸あたり30万円を補助(認定長期優良住宅やさらに省エネ性能の高い住宅の場合は1戸あたり40万円または50万円)、といった支援を予定している。

国土交通省は、この事業に関する説明会を全国9カ所で開催する。

事前申し込み制。詳細・申し込みは住宅リフォーム支援制度説明会受付窓口のウェブページから

情報提供: 新建ハウジング